

児童支援専任だより

令和 5年 6月 20日
児童支援専任 萩原 遼

6月も下旬を迎え、紫陽花がきれいな季節となりました。学校では、オリンピックが終わり、各学年、次の目標に向かって動き出しています。

今年度も、子どもたちの「心を育てる」ということを児童指導目標とし、様々な活動に取り組んでいきます。各学年の実態から学年目標を決め、子どもたちが自ら取り組んでいけるよう支援していきます。全校で取り組んでいることの1つに、「横浜プログラム」というものがありますので、ご紹介させていただきます。

横浜プログラムって？

子どもたちの良好な関わり合いに向けて、集団での「情緒面」、「意志面」、「社会面」の土台づくりを、活動を通して学んでいく「個を生かす集団指導プログラム」のことです。

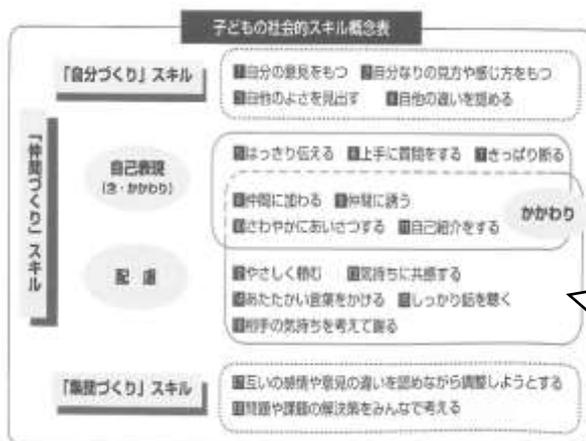


被受容体験、がまん体験、群れ合い体験等の個々の差が、深刻ないじめの問題などにつながってくるとも言われています。その差を集団活動の中で補っていくガイダンスプログラムとなります。

横浜プログラムが育成する「子どもの社会的スキル」は、自分自身や仲間との良好な関係や集団への積極的なかかわりを創り出すために必要な資質・能力です。

横浜プログラムのねらい

- 「自分づくり」・・・個々への成長支援である個々へのアプローチ
- 「仲間づくり」・・・個人間のコミュニケーションと対人関係のアプローチ
- 「集団づくり」・・・所属集団の発展と改善を目的としたアプローチ



「だれもが安心して豊かに」過ごしていけるよう、子どもたちの関わり合いを大切にしていきます。実際に活動を見ていただきたいと思いますので、授業参観などの機会でご覧いただければと思います。

インターネットで「横浜プログラム」と検索すると活動内容なども出てきますので、お時間のあるときに調べてみていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。